



長崎県石木ダム建設事務所
住所：東彼杵郡川棚町百津郷394-2
電話：0956-82-5109
＜ホームページ＞
石木ダム建設事務所 で 検索
もしくは、右のQRコードから



県内のダム紹介

大雨から街を守る「萱瀬ダム」

郡川における治水対策

大村市を流れる郡川水系郡川（二級河川）は、これまで度々洪水に見舞われており、昭和32年7月の諫早水害を契機として、郡川上流に萱瀬ダムを建設しました。

その後、数回の台風豪雨により、多くの住家に浸水被害が発生したことから、萱瀬ダムをかさ上げし、より多く水をためて洪水の被害を防ぐことにしました。

また、郡川がより多くの水を流すことができるよう、平成9年から河川改修を行っており、更に平成30年度から令和元年度にかけて、3カ年緊急対策による河床の掘削工事を行いました。



萱瀬ダムかさ上げ前（平成6年10月撮影）



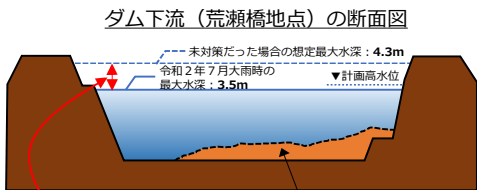
萱瀬ダムかさ上げ後（平成12年6月撮影）

令和2年7月豪雨での治水対策の効果

令和2年7月豪雨の雨量は、昭和51年、57年と同規模でしたが、ダムの洪水調節及び河川改修の効果により洪水の水位を低下させることができ、被害を軽減することができました。



ダム下流河川写真
（荒瀬橋上流付近）

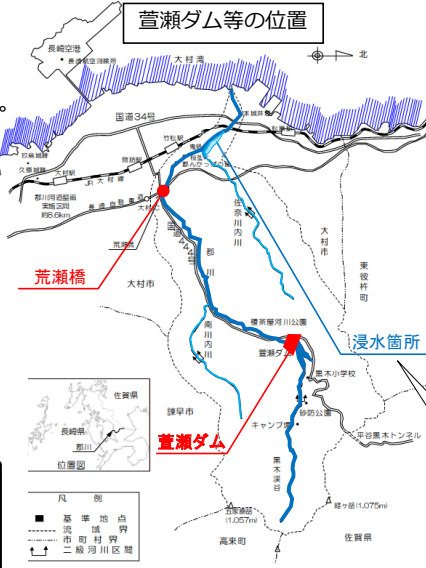


ダム下流（荒瀬橋地点）の断面図

未対策だった場合の想定最大水深：4.3m
令和2年7月大雨時の最大水深：3.5m
計画高水位

平成30年から川底の土砂を除去

萱瀬ダムと河川改修によって、洪水による川の水位の上昇を抑えました。



萱瀬ダム等の位置

荒瀬橋

浸水箇所

萱瀬ダム

過去の災害との比較

昭和57年7月23日～24日

令和2年7月6日

雨量

(S57) 1h最大：80.5mm
24h最大：442.2mm

1h最大：90.0mm
24h最大：446.0mm

被害

(S57) 浸水戸数：801戸

浸水戸数：178戸

※被害については大村市全体の数値

令和2年7月豪雨では、郡川本川からの越水、破堤による氾濫はありませんでしたが、郡川の支川である佐奈河内川が越水氾濫し115戸が浸水しました。

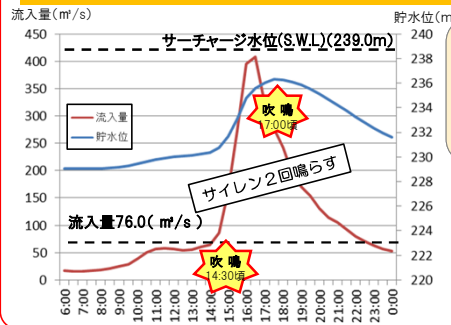
令和2年7月豪雨の際、萱瀬ダムのサイレンが鳴っていましたが、萱瀬ダムで緊急放流したのですか？



令和2年7月の豪雨の際には、萱瀬ダムで緊急放流（非常用洪水吐きからの越流）の可能性があるとサイレンを鳴らしましたが、ダムの貯水水位がサーチャージ水位（洪水時、一時的に貯水池に貯めることができる最高の水位）に達せず、緊急放流に至りませんでした。



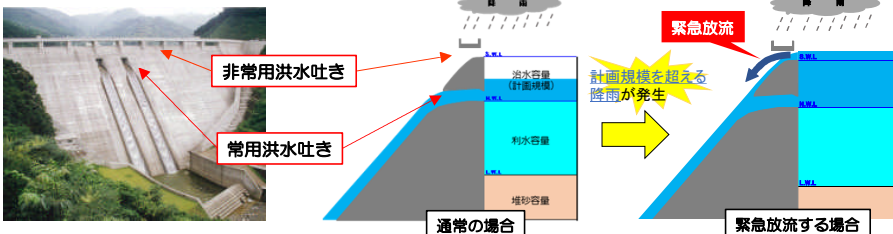
萱瀬ダム地点の水位と流入量（令和2年7月6日）



川の水位が急激に上昇することが予想された14:30頃と、サーチャージ水位(S.W.L)を超えるおそれがあった17:00頃に、サイレンを鳴らしました。



緊急放流のイメージ（ゲートなしのダム）



非常用洪水吐き

常用洪水吐き

通常の場合

緊急放流

計画規模を超える降雨が発生

緊急放流する場合

ワンポイント

これまでの、左の図のような人為的な操作（ゲート操作など）を伴わずに非常用洪水吐きから放流することを緊急放流と呼んでいませんでしたが、住民への情報発信をわかりやすく、ワンフレーズ化する観点から、令和3年5月より全国的に緊急放流と呼ぶことになりました。

この雨大丈夫？そんな時 キキクル

大雨・洪水警報の危険度分布

出典：気象庁ホームページ

大雨・洪水警報の危険度分布「キキクル」とは？

気象庁のホームページでは、大雨による災害の危険度の高まりを5段階の色分けで地図上に表示する「危険度分布（愛称：キキクル）」を公表しています。

キキクルは、警報が発表されたときや、強い雨が降ってきたときに、どこで土砂災害や浸水害、洪水災害の危険度が高まっているかを知ることができます、命を守るための情報です。

災害から自分自身や大切な人の命を守るため、活用してください。

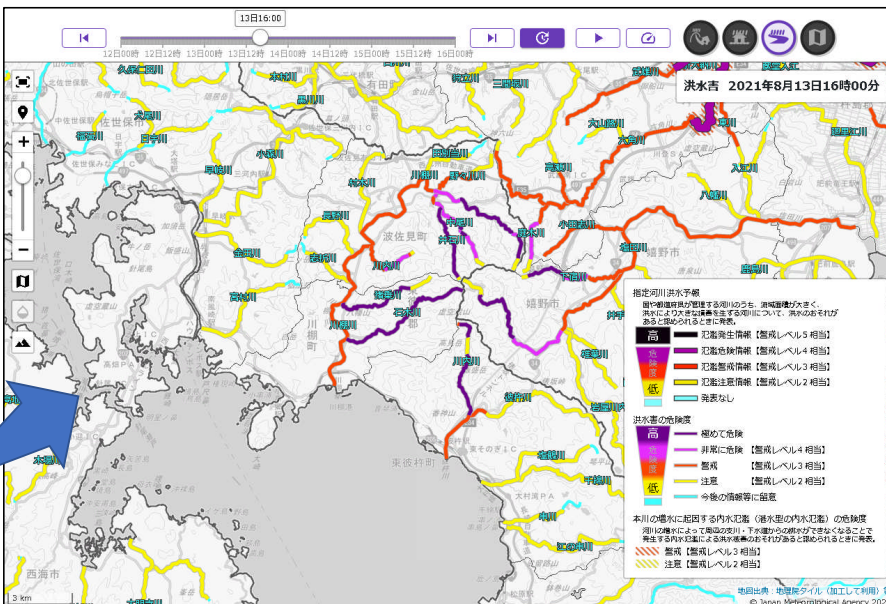
「キキクル」へのアクセス



地域を選択

- ▶ 土砂キキクル（大雨警報（土砂災害）の危険度分布）
- ▶ 浸水キキクル（大雨警報（浸水害）の危険度分布）
- ▶ 洪水キキクル（洪水警報の危険度分布）

【参考】洪水キキクル（川棚町周辺）：（令和3年8月大雨時）



出典：気象庁ホームページ

危険度の高まりを知らせる危険度分布の通知サービス

「キキクル」を活用し、大雨による災害の危険の高まりを、スマートフォンのアプリやメールにリアルタイムで知らせてくれる通知サービスもあります。

詳しくは

キキクル 気象庁 で 🔍 検索

ナルトサワギクの防除について

令和3年6月4日、「石木ダム建設に反対する川棚町民の会」から県に対して、特定外来生物に指定されている「ナルトサワギク」が石木ダム建設工事現場及びその周辺地域に大量に繁茂しているので、防除するよう申し入れがあったことを受けて、県としては「ナルトサワギク」の生育を初めて認識しました。

過去の写真を見直したところ、石木ダム事業で実施した植生工事を行う前の平成30年10月時点で、すでに「ナルトサワギク」が生育していたと思われます。このことから、石木ダムに関する工事が発生の原因である可能性は少ないと考えています。

現在は、現場内において随時抜き取り作業を行うとともに、試験的に防草シートや覆土（土をかぶせて成長を阻害する）を行い、防除の効果的な対策法について検討を進めています。また、工事の進捗にあわせて有効な対策を行い、拡散防止に向けて取り組んでいきます。



防草シート設置状況（令和3年9月撮影）



50cmの覆土を行った後、約90日後の状況（令和3年10月撮影）



抜き取り作業状況（令和3年11月撮影）

石木ダム工事差止訴訟控訴審判決について

地元住民及び支援者の方々が、令和2年4月4日に、本県及び佐世保市を相手方として、福岡高等裁判所へ控訴されていた、石木ダム工事続行差止請求控訴事件について、令和3年10月21日、控訴を棄却する判決が示されました。

石木ダム建設事業は、地域住民の皆様の安全・安心に直結する重要な事業であり、近年、自然災害が頻発するなか、県民の皆様の生命や財産を守るため、整備を急がなければならないと考えておりますので、事業推進についてご理解とご協力をよろしくお願いします。

「水のわ」に関して、ご質問やご意見等がありましたら、下記連絡先にお寄せください。

石木ダム建設事務所 電話 0956-82-5109
長崎県土木部河川課 電話 095-823-3280